

産業洗浄はものづくりの目に見えない付加価値です。

日本産業洗浄協議会 メールマガジン 第109号



メールマガジン第109号をお送り致します。
まだまだ暑い日が続きます。先月末には国連で「地球は沸騰化の時代に入った」と警鐘を鳴らしました。そしてお盆休みには台風が来て大きな爪痕を残していきました。高校野球も3回戦4試合が順延になるなどの影響が出ました。折角の夏休みを残念な気持ちで見送った方も多いのではないのでしょうか。そして・・・・

まだ暑い！

今月は、

- (1) トピックス : 第7回洗浄技術検定及び事前講習会受付中
- (4) 連載 : 東西対決 「天満駅」 (ペンネーム: MJ)
- (5) リレーコラム : 「長野県民の特殊能力とは？」 (ペンネーム: 元長野県民 (現在千葉県民))

.....

(1) トピックス: 第7回洗浄技術検定及び事前講習会受付中

.....

【お知らせ】2023年度(第7回)洗浄技術検定及び事前講習会開催の件。

「洗浄技術検定」は、産業洗浄に関する総合的な理解と技術者の育成・知識の継承などを目的とした制度です。

洗浄剤や洗浄機を製造販売するメーカーにとどまらず、商社や生産に携わる方々にまで、幅広く受験いただき、既に400名の合格者を送り出しております。

- 1級・2級試験は、11月1日(水)～1月19日(金)の間で希望する日時に、全国200か所以上の(株)オデッセイコミュニケーションズ社提携試験会場から選んで受験していただけるCBT(Computer Based Testing)方式で実施します。
- 1級・2級受験者向けの事前講習会は、ご自宅などで受講できるようオンラインで10月19日、11月16日、12月14日の3回実施します。ご希望があれば、洗浄マイスター受験者も受講いただけます。

- 事前講習会申込者からはテキストに関する質問を専用メールで受け付けます。
- 洗浄マイスター試験は、定員を 10 名に絞って、11 月 17 日に日本産業洗浄協議会会議室で実施します。
- 受験・受講の手続は <http://www.jicc.org/kentei/> から
- 1 級・2 級 事前講習会申込期間：2023 年 8 月 1 日～12 月 7 日
- 洗浄マイスター試験申し込み期間：2023 年 8 月 1 日～10 月 31 日

.....

(4) 連載：東西対決 「天満駅」 (ペンネーム：MJ)

.....



「天満駅」は、JR-010、駅シンボルフラワーは「梅」、発車メロディは、大阪府出身の aiko の『花火』が使われています。天神祭の花火が採用の理由とされています。天満駅といえば、日本一長い商店街で有名な天神橋筋商店街。天神橋を起点として北に天神橋 7 丁目まで全長約 2.6km にもなります。江戸時代、二丁目にある学問の神様・菅原道真を祀る「大阪天満宮」の門前町として栄

えたのが始まりで、明治時代に入ってから、現在のような商店街として発展しました。昔ながらの大衆食堂、惣菜屋、刃物屋、お茶屋、豆腐、コロッケ、陶器に着物など、およそ 800 店舗が連なっています。

毎年 7 月 24・25 日の「天神祭」には、地元の神輿などがここを練り歩き、露店や見世物などで活気が溢れます。「天神祭」は、「大阪天満宮」の氏地を中心に、毎年 6 月下旬吉日から 7 月 25 日までの 1 カ月間にわたり開催されます。特に、7 月 24 日の「宵宮」と 25 日の「本宮」は盛大に執り行われ、多くの人でにぎわいます。厳かな神事から始まり、地車（



だんじり) の引き回しや太鼓の演奏などが行われる「宵宮」と、陸渡御や船渡御（ふなとぎょ）などで大いに盛り上がる「本宮」はどちらも見どころ満載です。

実は、大阪で暮らしてからこれまで一度も天神祭に行ったことがありませんでした。今年初めて参加し、神輿や花火を堪能してきました。今まで何していたんでしょね。

さて次回は、「桜ノ宮駅」を予定しています。お楽しみに。

.....

(5) リレーコラム：「長野県民の特殊能力とは？」 (ペンネーム：元長野県民(現在千葉県民))

.....

仕事で全国あちこちと出張の多い私は、出張先での名物の情報収集の為に“秘密のケンミンショー”が好きでよく見えています。

少し前だと思いますが妻と一緒に見ていると“長野県民はだれもが自宅の標高が言える”と長野県民の特性を特集していました。

一緒に見ていた妻が、長野県にあるO村(長野市と大町市の中間位に位置する、山間の小さな村)の出身者である私に“実家の標高知っているの?”と問いかけてきました。



私は“518mだよ”と即答しました。

“え!!なんで知っているの”と妻。

半世紀以上前の小中学生時代に思いをはせると、学校の門の所にあった石碑に標高・経度・緯度が書かれており、頭に標高だけがインプットされていたように思います。

その後実家に帰省し皆が集まった席で次男の弟に聞くと“ここは正確には514mで518mは中学校の標高だよ”と間違いを指摘されてしまいました。

現在飯縄高原の麓に在住の三男の弟に自宅の標高を尋ねると“1064m”と即座に答が返ってきました

T村出身の次男の奥さん(義妹)に実家はと聞くと“約880m”と即答です。

現在N市に在住している姪の旦那さんに尋ねると“約443m”とこれもまた即答でした。正確かどうかは?ですが、みんな自宅の標高が言えたのです。

聞いていた関西出身の妻は“長野県民は自宅の標高が言えるという特殊能力を持っている”と驚きをかくせませんでした。

不思議ですが、ではどうやって“長野県民はこの自宅の標高が言える”という特殊能力を身に着けたのか考えてみました。

- ① 標高については3Dで製作された立体地図で徹底に学校でならう。
- ② 小学校の低学年のころから(標高・・・mと認識させられて)登山をさせられる(学年が上がると登山する山の標高が高くなる)
- ③ 中学校では標高3000mクラスの山へ泊まり込みで登山させられる。
- ④ 道路や橋などいろんな場所に“標高～m”と書いてあり、よく見かけます。
- ⑤ よく地元のO村の特色の説明に、北アルプスの“槍ヶ岳”標高3180mの日本で5番目に高い山がきれいに見えますと言っていました。

⑥ 私の出身地の山間部の村は500m～1000mに位置しており“～はここより300m程高いから、夏は涼しいけど冬は寒いよね”といった会話が普通にされていました。



私は、上記①～⑥の理由で学校教育や普段の生活を通して、長野県民は自然に標高を意識するようになってきているからではないかと思います。

ちなみに余談ですが私の記憶に残っている登山歴を述べておきます。

小学校何年生だったか記憶が定かではありませんが“戸隠山(標高1904m)”や“飯縄山(標高1917m)”にキャンプした翌日に登らされた記憶があります。



中学1年生の時は草津白根山(標高2160m)に登山させられました。確か途中までバスで行けたのに、わざわざ麓から登らせられました。途中、霧に巻かれて周りが全く見えず移動できなくなってしまい、1～2時間その場に待機せざるを得ず、怖かった記憶があります。

中学2年生の時は、燕岳(標高2763m)に登らされた記憶があります。

登山口にある温泉宿に宿泊して、山頂でご来光を拝むという理由で真夜中に起床、懐中電灯を照らしながら、途中標高～mの看板を見ながら、後～mだと思いながら黙々と山頂をめざした記憶があります。

途中、高山病になってしまった同級生もいました。それなりに厳しい登山だったと記憶しています。



*長野県の小中学生にとっての登山はしたくてするものでなく、させられるものなのです・・・山の厳しさと素晴らしさを知る為の教育の一環なのかもしれません(ちなみに厳しさを知った私は、中学卒業後は一度も登山はしておりませんが・・・)

ちなみに八王子にある高尾山は標高599mでした。

尚、私は現在千葉県I市在住ですが、引っ越したおり、気になって標高(海拔)を調べていました(0.9mでした)・・・これも長野県民OBの性かもしれません。

みなさんも長野県を訪れたおりは、あちこちに書かれてある標高を見て、楽しんで下さい。

“日本で一番高い高い所にある～”なんて看板もあります。

最後までご覧いただきありがとうございました。今後ともご愛顧のほどよろしくお願ひ致します。

▼「配信停止」をご希望の方は、お手数ですが以下をクリックし、その旨ご記入いただき送信下

さい。▼

sskjicca@jicc.org

▽お送りしたこのメールは、送信専用ですのでこちらには、返信しないで下さい。▽